

《特別支援学校羽生ふじ高等学園の活性化・特色化方針》

種別	知的障害	学部・学科	高等部・職業学科	R7.5.1 児童・生徒数	(男) 66 (女) 27	計93
アクセス	東武伊勢崎線または秩父線「羽生駅」下車 徒歩25分					
＜教育課程等＞						
・農業技術科（農業コース、園芸コース）と生活技術科（フードデザインコース、メンテナンスコース）の2学科4コースを設け、就労に向けた意欲と態度の醸成を図る。 ・企業就労と定着のために、一般教科と専門教科両方をバランスよく学び、1年次より企業での現場実習を取り入れ、社会自立に向けた基礎知識や社会性を習得する。 ・学習は、教科ごとに3年間の学習指導計画を作成し、系統だった学習指導を行う。						
＜学校行事・部活動＞						
・体育祭、ふじ学園祭等全員参加の学校行事は、活気にあふれている。 ・宿泊棟での「宿泊学習」、「社会体験学習」、専門教科での豊富で多様な「校外学習」等を通して、良好な人間関係を作るコミュニケーション能力の育成を図っている。 ・ふじ学園祭では、生徒による合唱ミュージカル「ライオンキング」の発表が高い好評を得ている。 ・陸上、サッカー、バスケットボール、音楽、総合文化の5つの部があり、各部とも熱心に活動に取り組んでいる。各種大会で入賞を果たし、発表会や催事で活躍している。						
＜家庭・地域との連携＞						
・年間を通じて、専門教科で作る農作物、草花、パン菓子類の校内販売をはじめ、近隣の催事や教育機関・商業施設等で販売したり、清掃活動や植栽を通して地域に貢献している。 ・学校説明会、企業向け学校公開を実施し、本校の魅力等の発信をしている。 ・体験入学や市内中学校の特別支援学級との交流授業を実施している。 ・文化部が市内の高校や催事でパフォーマンスを披露している。 ・「環境整備活動」として、生徒と教職員全員で通学路の清掃、草取りやゴミ拾いを行い、美化活動を推進している。						
＜進路＞						
・生徒一人一人の能力・特性を的確に把握し、職業教育及び現場実習をとおして最大限に得意分野を伸ばすとともに、関係機関と連携し、適性に応じた進路選択を支援している。 ・卒業生の職場定着状況を可能な限り把握し、関係機関と連携して継続的に支援している。 ・開校以来、企業就労と定着を目指し支援しており、開校から昨年度まで608名が卒業し、社会に巣立っている。令和6年度卒業生は37名のうち35名が企業等に就労した。						

県立特別支援学校羽生ふじ高等学園～生徒の成長物語～



コバトン &
さいたまっち

本校の 特 色

◇目指す学校像

- ・生徒一人一人の主体的な学びを充実させ、社会生活に必要な知識・技能・態度を育てる学校
- ・生徒一人一人の体験的な学習を充実させ、進路実現に取り組む学校

◇学校教育目標

- ・共に学び、考え、行動する人間を育成する。
- ・社会生活に必要な知識や技能、態度を身に付け、自立する人間を育成する。
- ・心豊かに、明るく、たくましく生きる人間を育成する。

学科・コース

農業技術科

- ・農業コース
- ・園芸コース

生活技術科

- ・フードデザインコース
- ・メンテナンスコース

一般教科

国語・数学
英語・音楽
美術・保健体育
家庭・情報



授業風景

第1学年

○就労することへの理解と意識を高める。

- ・専門科目＋一般科目
- ・「職業」「LHR」
- ・職場見学／職場実習（1回）

目指す生徒像

ふ 不屈の心で
じ 自立を目指し
の 伸びやかに
は はつらつと
な 何事も最後まで
やり遂げる生徒

校訓：『協力』『自立』『明朗』

第2学年

○就労に向けての適性や課題を理解し、必要に応じて改善する。

- ・専門科目＋一般科目
- ・「職業」「LHR」
- ・チャレンジ実習
- ・職場実習（2回）

《行事》



マラソン大会



文化祭
(ライオンキング)



主権者教育

第3学年

○主体的に自分の進路を考え、就労を目指す。

- ・専門科目＋一般科目
- ・「職業」「LHR」
- ・求職登録、支援センター登録、重度判定等
- ・職場実習（就労決定迄）

《教科外の教育》

人権教育
主権者教育
性教育
防災教育
非行防止・防犯教育
福祉教育
など



環境整備活動

卒業後

【定着支援】

家庭・企業
支援センター
ハローワーク
福祉課など
との連携



『職業』



生徒総会



マスコットの
「はーにー」 &
「フージー」も応援しています。

